

平成26年度 環境政策局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成26年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
自然環境とくらしを気遣う環境の保全	1 生物多様性保全	・「まちかどいきものマップ」の更なる応募勸奨 ・生きものの生息環境の保全（京の生きもの・文化協働再生プロジェクト） ・理解し行動する市民の支援（京都生きもの100選の検討，京の生きものホットスポット調査，自然観察会） ・活動を促す仕組みとネットワークの構築（京・生きものミュージアムポータルサイトの開設，生物多様性保全活動登録制度の創設・運用）	京の環境共生推進計画 京都市生物多様性プラン	・「まちかどいきものマップ」の更なる応募勸奨（応募作品92点） ・生きものの生息環境の保全（「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」（認定数7件）） ・理解し行動する市民の支援（自然観察会の開催3回，京都市生物多様性セミナーの開催（平成27年1月）） ・活動を促す仕組みとネットワークの構築（京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～の開設（平成26年10月））	（今後の重点事項） ・生物多様性に対する理解の促進 ・生物多様性保全の活動に市民・事業者・大学・市民団体等の多様な主体の参画・連携を促すための環境整備	環境管理課
	2 生活環境の保全	・大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌汚染など，公害発生防止対策等の取組を推進 ・微小粒子状物質（PM2.5）等の大気の測定や主要河川の水質調査等の常時監視	京の環境共生推進計画	・大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌汚染など，公害発生源に対する調査及び指導を実施 ・微小粒子状物質（PM2.5）等の大気の測定や主要河川の水質調査等の常時監視を実施		環境指導課 環境共生センター
低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現	3 省エネルギー，創エネルギーの普及拡大	＜太陽光発電等＞ ・①太陽光発電システム，②蓄電システム，③太陽熱利用システムの設置助成（※①，③は省エネルギーフォーム，耐震改修，国の省エネ住宅に関するポイント制度の助成と併せて実施した場合，助成額を増額） ・燃料電池システム，HEMSの設置助成制度の創設 ・自立分散型エネルギー等の導入相談のためのワンストップ窓口の設置 ・地域住民やコミュニティ組織が主体となった発電事業に対する支援制度の創設 ・「都市熱活用プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進 ＜バイオマス＞ ・バイオディーゼル燃料の利用と「バイオ軽油」の実用化に向けた取組の推進 ・「都市油田発掘プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進 ・クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化	京都市地球温暖化対策計画<2011-2020> ―地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して― 京都市バイオマスG0!G0!プラン 京都市バイオマス活用推進計画（2011―2020） クルマのかしこい利用を進める京都市自動車環境対策計画（2011-2020）	・太陽光発電システム（1,301件），蓄電システム（166件），太陽熱利用システム（10件）の設置助成 ・燃料電池システム（743件），HEMS（138件）の設置助成制度の創設 ・自立分散型エネルギー等の導入相談のためのワンストップ窓口（京安心すまいセンター）の設置（平成26年4月） ・地域のコミュニティ組織が主体となった再生可能エネルギーを活用した発電事業を支援する「コーディネーター派遣制度」の創設（平成26年9月，派遣団体数10団体） ・バイオディーゼル燃料の利用と「バイオ軽油」の実用化に向けた取組の推進 ・ごみ収集車及び市バスでのバイオディーゼル燃料の利用（約105万リットル） ・クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化（発電量1億6,403万kWh/年，売電額16億2,251万円/売電量7,960万kWh）	（今後の重点事項） ・自立分散型エネルギーである太陽光発電システムや太陽熱利用システム，蓄電システム，家庭用燃料電池システム，HEMSの更なる利用促進 ・業務部門の省エネ・節電対策に効果的なBEMS導入を促進させる環境づくりの構築	地球温暖化対策室 環境管理課 施設管理課 施設整備課
	4 家庭部門における地球温暖化対策の推進	・平成25年度からの3箇年で市内全222学区がエコ学区となるよう支援 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の全市立小学校（166校）での実施，親子学習会などプログラムの充実 ・DO YOU KYOTO?クレジット制度を活用した温室効果ガス排出量削減及び創出されたクレジットの活用促進 ・大学生を対象にした環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るプロジェクトの実施	京都市役所CO2削減率先実行計画	・平成25年度からの3箇年で市内全学区（222学区）が「エコ学区」となるよう支援（200学区（平成27年3月末）） ・こどもエコライフチャレンジ推進事業を全市立小学校（166校）で実施 ・「DO YOU KYOTO?クレジット制度」を活用した温室効果ガス排出量削減及び創出されたクレジットの活用促進（認証量591.6t-CO2）		

低炭素型のくらし や持続可能な エネルギー社会 の実現	5 運輸部門における 地球温暖化対策の 推進	・京エコドライバーズ宣言登録者数の拡大 ・エコカーへの転換の促進	京都市地球温暖化対策 計画<2011-2020> ー地球にやさしいまち・ 経済・ライフスタイル を目指してー	・京エコドライバーズ宣言登録者数の拡大 (累計登録者数136,547人(平成27年3月末))	(今後の重点事項) ・自立分散型エネルギーである太陽光 発電システムや太陽熱利用システム、 蓄電システム、家庭用燃料電池 システム、HEMSの更なる利用促進 ・業務部門の省エネ・節電対策に 効果的なBEMS導入を促進させる 環境づくりの構築	地球温暖化対策室 環境管理課 施設管理課 施設整備課
	6 産業・業務部門 における地球温暖化 対策の推進	・「BEMS普及コンソーシアム京都」の創設 ・KES認証取得の促進	京都市バイオマスGO!GO! プラン 京都市バイオマス 活用推進計画(2011ー 2020) クルマのかしい利用を 進める京都市自動車環境 対策計画(2011-2020)	・「BEMS普及コンソーシアム京都」の創設 (平成26年8月) ・事業者排出量削減報告書の公表及び訪問調査 (21件)の実施、優良事業者(6者)及び S評価事業者(22者、優良事業者を含む)の表彰 ・KES認証取得の促進		
	7 国際的な地球温暖化 対策の推進	・イクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業 (国際シンポジウム等)の開催	京都市役所CO2削減 率先実行計画	・イクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業 「京都国際環境シンポジウム」の開催 (平成26年11月)		
	8 地球温暖化対策 のための市役所 の率先実行	・京都市役所からの温室効果ガス排出量の削減 を推進		・京都市役所からの温室効果ガス排出量を23.2% 削減(平成16年度比)		
ごみを出さない 循環型社会の 構築	9 ごみの発生抑制・ 再使用の推進	・「みんなで目指そう!ごみ半減!循環のまち・京都 プラン」の取組の見直しや新たな方策の条例化 ・「生ごみ3キリ運動」の推進 ・マイボトル持参と衣料品回収行動を促進するKYOTO エコマナーの活用 ・イベント等でのリユース食器の普及促進 ・環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施	みんなで目指そう! ごみ半減!循環のまち・ 京都プラン ー京都市循環型社会推進 基本計画(2009-2020)ー	・「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」 の一部改正(平成27年3月) ・「新・京都市ごみ半減プランー京都市循環型社会推進 基本計画(2015-2020)ー」の策定(平成27年3月) ・平成26年度のごみ量は46.1万トンまで削減 (ピーク時(平成12年度)から43%削減) ・「生ごみ3キリ運動」の推進(食べ残しゼロ推進 店舗認定件数96件) ・マイボトル持参と衣料品回収行動を促進する KYOTOエコマナーの活用(参加者数延べ約24,000人、 商品交換件数5,537件) ・イベント等でのリユース食器の普及促進(京都市 認定エコイベント135件、リユース食器利用促進 助成40件) ・環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施 (参加人数2,216人、実施回数99回)	(今後の重点事項) ・「新・京都市ごみ半減プラン」に 基づく取組の推進 ・観光地におけるトイレの充実	ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所
	10 資源物の分別・ リサイクルの推進	・資源物の地域巡回回収の実施 ・有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業の実施 ・雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル事業の本格 実施・全市展開 ・地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の 取組の推進 ・地域単位で古紙類、古着類、缶・びん類等の 資源物を回収するコミュニティ回収の拡大 ・バイオディーゼル燃料として活用する使用済 てんぷら油の回収量拡大		・資源物や有害・危険ごみを地域に出向いて回収する 移動式拠点回収事業の実施(244回) ・雑がみ等の分別・リサイクルの全市展開 (平成26年6月) ・地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化 の取組の推進(生ごみ・落ち葉の堆肥化の活動 団体に対する助成43件) ・地域単位で古紙類、古着類、缶・びん類等の資源物 を回収するコミュニティ回収等の拡大 (団体数2,505団体(平成27年3月末)) ・バイオディーゼル燃料として活用する使用済 てんぷら油の市民回収の実施(1,806拠点、 回収量176,412リットル)		

ごみを出さない循環型社会の構築	11 事業ごみ減量，分別・リサイクル対策	・事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行 ・事業所における紙ごみ等のごみ減量モデルの構築 ・大規模事業所，特定食品関連事業者に対するごみ減量指導 ・業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発	みんな目指そう！ ごみ半減！循環のまち・京都プラン ー京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)ー	・事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行（16～20号） ・事業所における紙ごみ等のごみ減量モデル事業の実施（8業種） ・大規模事業所に対するごみ減量指導の実施（減量計画書提出件数 2,208件(提出率100%)，立入指導件数1,255件，講習会の開催12回，ごみ減量・3R活動優良事業所認定件数42件） ・特定食品関連事業者に対するごみ減量指導の実施（減量計画書提出件数47件(提出率100%)，訪問指導件数23件） ・業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発（管理者講習会の開催(平成27年1月)，管理者訪問等による調査・啓発の実施51事業者）	(今後の重点事項) ・「新・京都市ごみ半減プラン」に基づく取組の推進 ・観光地におけるトイレの充実	ごみ減量推進課 環境共生センター
	12 第3次京都市産業廃棄物処理指導計画の推進	・排出事業者への指導の充実 ・優良な処理業者の育成に向けた情報公開の推進 ・啓発や環境教育の効果的な実施	第3次京都市産業廃棄物処理指導計画	・第15回環境フォーラムきょうとの開催（参加者数1,376人） ・排出事業者への立入検査の実施（258件）		廃棄物指導課
	13 大岩街道周辺地域の良好な環境づくり	・大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施 ・民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施 ・岡田山周辺の土壌，地下水等の環境調査，廃棄物検査及び交通量調査の実施	—	・大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施（職員による監視週3回，委託による監視週4回（平日昼間2回，平日早朝1回，休日1回）） ・民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施（撤去量40,660m3）		環境指導課 廃棄物指導課
	14 ごみの適正処理や施設整備	・クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営 ・南部クリーンセンター第二工場建替え整備に向けた設計，解体工事 ・東部山間埋立処分地の延命策の検討 ・水垂排水機場のディーゼルエンジン及びポンプの整備	みんな目指そう！ ごみ半減！循環のまち・京都プラン ー京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)ー	・クリーンセンター等の効率的・効果的な運営及び適切な維持管理の実施 ・不適物搬入調査の実施（85回） ・南部クリーンセンター第二工場建替え整備に向けた設計，解体工事の実施 ・東部山間埋立処分地の延命策の検討（東部山間埋立処分地延命策検討部会の開催5回） ・水垂排水機場のディーゼルエンジンの更新及びポンプの整備		まち美化推進課 まち美化事務所 生活環境美化センター 施設管理課 施設整備課 クリーンセンター 埋立事業管理事務所 魚アラルサイクルセンター
	15 地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	・地域における自主的なごみ減量，リサイクル活動の拡大 ・国際文化観光都市・京都にふさわしいトイレ環境の整備の検討，推進		・地域における自主的なごみ減量，リサイクル活動の拡大 ・公衆トイレの維持管理（環境政策局所管75箇所，他局所管4箇所） ・観光トイレの設置（26箇所） ・公衆トイレの改修（円山公園事務所西公衆トイレの洋式便器化等）		ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 (エコまちステーション)